

平和島駅周辺地区

臨時号

発行日
2015年10月20日



まちづくりニュース



平和島駅周辺地区まちづくり協議会 発行責任者：黒崎 淳一

連絡先：東京都大田区大森北1-30-1三喜屋ビル2F おおた市民活動推進機構内 TEL:03(5753)3860 FAX:03(5753)3861

まちづくり協議会で進めてまいりました、平和島駅周辺地区のまちの課題整理の活動をご報告します。

平和島駅周辺地区のまちづくりを語り合う会での 意見のまとめ

ワークショップ形式でテーマごとに5回、「語り合う会」を開催しました。参加者全員からたくさんの意見を集め、それを定例会などでさらに検討し意見の整理を行いました。

第1回 交通の利便性のあるまち

- ①バス乗降場が分散して利用しづらい。バス案内板の工夫や配置の改善が求められる。
- ②平和島駅前第一京浜側歩道は日常的な通勤ラッシュ時の混雑などがあり、歩道幅員確保など、歩く人の動線確保の検討が必要である。
- ③平和島駅前のタクシー待機所は他車両の通行の妨げになることもあり、新たな待機スペース確保が求められる。
- ④自転車駐車場の整備を具体化する必要がある。



小グループに分かれての話し合い

第2回 安全で安心なまち

- ①地域住民全体で防災や防犯の取り組みを進められる仕組みづくりが必要である。
- ②駅前商店街の建物老朽化や建て詰まり等は、防災面からも改善が必要である。
- ③ハード面の再整備には、バリアフリーのまちづくりの推進が求められる。



たくさんの意見が集まりました

第3回 緑豊かなまち

- ①平和島地区は臨海部との隣接などで、大規模公園や緑が身近にある。これらをさらに活かし、区内外から人が多く訪れる魅力ある公園づくりが必要である。



第3回は子ども達も加わりました

第4回 活気あるまち

- ①まちに住む人が行きたくなくなる地元商店街や公園づくりが求められる。
- ②京急線を利用する多くの働く人々をターゲットにしたにぎわいづくりも必要である。
- ③臨海部などの観光資源を意識し、来街者を呼び込める魅力づくりや情報発信、臨海部への交通結節点としての平和島駅を活かしたにぎわいづくりが必要である。



緑豊かなまちへの意見でできた木

第5回 歴史と文化をふまえたまち

- ①平和島らしさともいえる、旧東海道ミハラ通りや海苔の商売などの歴史的財産継承と、歴史文化を活かしたまちの魅力づくりを具体的に進める必要がある。

まちづくり協議会としての課題の整理

平成22・23年のアンケート活動や語り合う会の意見、現地調査などから課題の整理を行いました。

●まちづくりの基盤となる施設や設備に対する課題

- ① 駅前商店街の安全の強化
- ② ミハラ通り商店街のまちなみの維持
- ③ 公共交通の利便性の向上
- ④ 歩行者環境の改善
- ⑤ 自転車環境の改善

●地域の連携を必要とする課題

- ① にぎわいのあるまち
- ② 清潔感のあるまち
- ③ 住みやすいまち
- ④ 近接エリアとの連携を大切にするまち



平和島駅周辺地区のまちづくりの指針

これまでの課題整理を踏まえ、「平和島駅周辺地区のまちづくりの指針」を作りました。この指針をもとにさらに地域の皆様のご意見をいただき、「平和島駅周辺地区まちづくり計画」を平成29年度までに完成させる予定です。

交通の利便性のよい安心で安全で、親しみを持ち、歩いても楽しめる平和島周辺地区らしいまちづくりを進めます。

平和島駅周辺地区まちづくり協議会活動対象地域

